

国際子ども図書館の概要・子どもの本の選書

国際子ども図書館児童サービス課長
西尾初紀

1. 建物の沿革

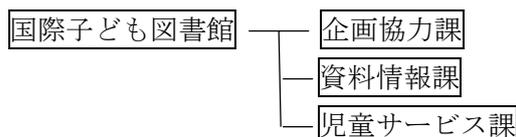
- 1906 帝国図書館創建
- 1948 国立国会図書館設立
- 1949 国立国会図書館の支部上野図書館となる
- 2000 国立国会図書館国際子ども図書館設立、部分開館
- 2002 国立国会図書館国際子ども図書館全面開館
- 2015 アーチ棟（仮称）開館
- 2016 レンガ棟（仮称）改修

2. 理念と3つの役割

「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」

1. 児童書専門図書館としての役割
2. 子どもと本のふれあいの場としての役割
3. 子どもの本のミュージアムとしての役割

3. 組織



4. 国際子ども図書館の閲覧室

4-1 第1・第2資料室（資料情報課所管）

→児童書研究資料室として統合予定

- ・国内児童書（納本） ←国立国会図書館本館から児童書を選別して移送、第1資料室に開架（のちに書庫に納架）
- ・洋書児童書（購入・寄贈）
- ・和洋参考図書（購入）

4-2 子どものへや・世界を知るへや（児童サービス課所管）

（調べものの部屋 ←2016年2月開設予定）

- ・国内児童書（購入）

- ・洋書児童書（購入・寄贈）
- ・和洋参考図書（購入）

→NDL-OPAC と子ども OPAC で「子どものへや」の所蔵を確認可能

<https://ndlopac.ndl.go.jp/>

<http://iss.ndl.go.jp/children/top>

5. 選書

5-1 選書することの意味

選書した資料をベースに組み立てられる直接サービス

- ・フロアワーク
- ・おはなし会
- ・小展示
- ・その他イベント

5-2 国際子ども図書館が直接サービスを行うことの意味

- ・子どもへの理解、子どもの本、子どもと本をつなぐ技術等の知識の蓄積
- ・選書業務の重要性の認識と鑑識眼の向上
- ・全国の児童サービス担当者との意識の共有
- ・全国の児童サービス担当者に向けての児童サービスの情報発信

5-3 知識の本の選書の実際

- ・現品選書：納本資料（資料室開架）を通覧
- ・季刊『こどもとしょかん』
- ・月刊『こどもの本』ほか新刊案内

6. 国際子ども図書館ホームページ上の選書に役立つ情報

- ・本を読んで世界を知ろう—学校図書館セット貸出しができるまで

<http://www.kodomo.go.jp/promote/activity/school/index.html>

- ・子どものへや「小展示」

<http://www.kodomo.go.jp/use/room/childroom/month.html>

- ・展示から広がる本の世界—子どものへやにおける展示の工夫

<http://www.kodomo.go.jp/promote/activity/exhibition/index.html>

- ・国立国会図書館キッズページ「よんでみる？」

http://www.kodomo.go.jp/kids/research/book/book_index.html